

のみだより

特集

九谷焼の作り手
×
市議会

CONTENTS

定例会報告	P 2
正副議長交代	P 3
常任委員会審査報告	P 3
予算決算常任委員会審査報告	P 4
討論・賛否一覧	P 6
一般質問	P 7
政務活動費閲覧制度のお知らせ	P 13
九谷焼の作り手との意見交換会	P 14
議会日誌・議会日程・編集後記	P 16



平成29年6月定例会

今定例会は、6月5日（月）から6月23日（金）までの19日間の会期で開かれました。市長から提出された議案15件、諮問1件をすべて可決・承認・同意しました。

また、議会議案として「海洋ごみの処理推進を求める意見書」を提出し、全会一致で可決しました。

主な議案の内容は以下のとおりです。

●平成29年度能美市一般会計補正予算（第2号）（P4～6に関連記事）

平成29年度一般会計予算は累計で225億6,100万円に

平成29年度一般会計当初予算は、編成時期が市長選挙と重なったことから、経常的経費や継続費を中心とする『骨格予算』として編成されていましたが、今回の補正予算で、政策的経費や新規事業が盛り込まれました。既定の歳入歳出予算の総額に15億5,100万円が追加され、これにより、一般会計予算は累計で225億6,100万円となりました。

なお、今回の補正予算の概要は、広報のみ7月号に詳しく掲載されていますのでご参照ください。

※一般会計予算の累計には、平成29年3月31日をもって解散した能美広域事務組合の財産処分に伴う清算及び事務の承継費として追加された2億3,000万円も含まれます（4月1日付けで専決処分）

●第2次能美市総合計画基本構想の策定（P3・P6に関連記事）

第2次能美市総合計画が策定されました

総合計画は、今後10年間のまちづくりの指針を示すものであり、中でも、基本構想には、能美市の目指すべき将来像やその実現に向けたまちづくりの基本方針などが掲げられています。「市民が躍動し、地域が輝く、能き美しきまちづくり」を今後10年間のテーマとし、市民が「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」の実現を目指します。



▲計画には、外国人と自然にふれ合える環境づくりを推進していくこと等が盛り込まれています

●能美市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例（P3に関連記事）

能美市立病院内に「もの忘れ相談外来」が開設

増加する認知症患者や軽度の段階からの悪化予防への専門的診療が受けられるよう、能美市立病院の診療科目に老年精神科を新設。「もの忘れ相談外来」が開設されることになりました。

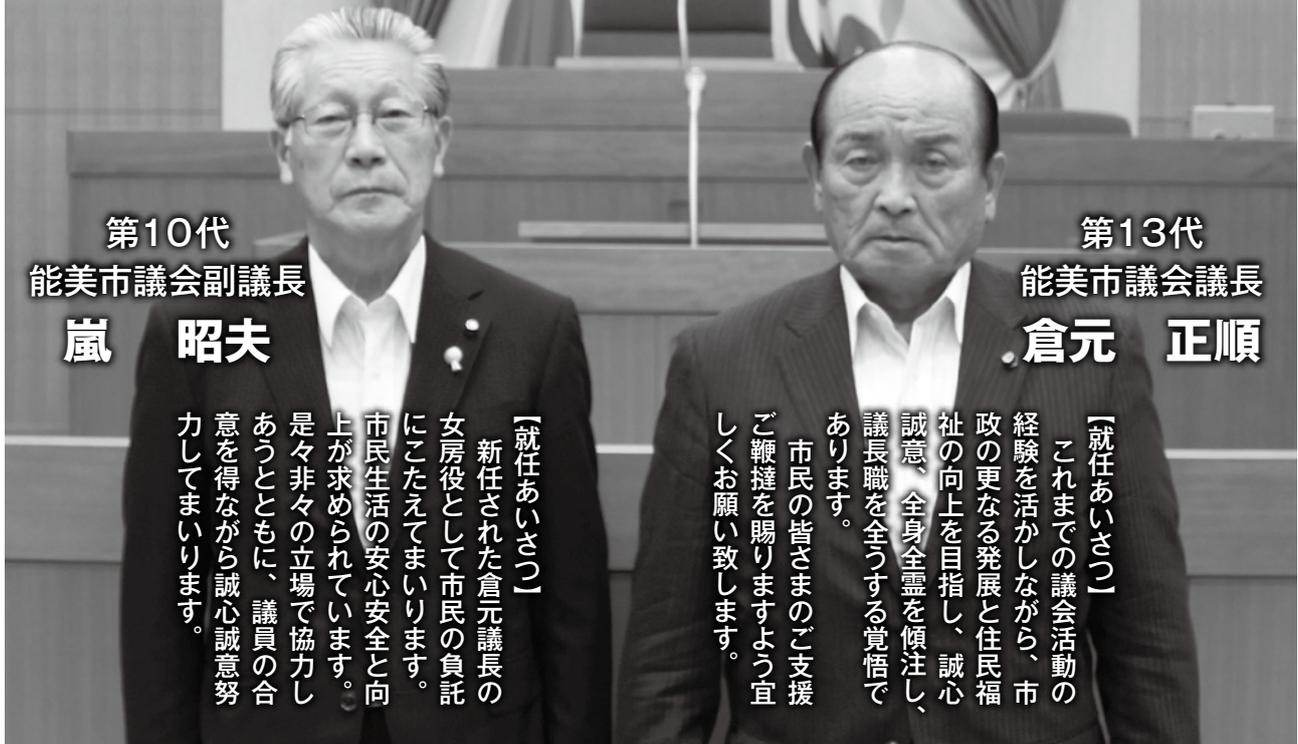
また、昨年度末に策定した新改革プランの一環として、6人部屋を4人部屋に再編。ゆったりとした環境の中で穏やかに療養できるようになります。



▲専門医による早めの相談を

議長・副議長が交代しました

定例会の初日、北野哲議長の辞任に伴う議長選挙が行われ、倉元正順議員が新議長に選ばれました。また、居村清二副議長の辞任に伴う副議長選挙も行われ、嵐昭夫議員が新副議長に選ばれました。



第10代
能美市議会副議長
嵐 昭夫

〔就任あいさつ〕
新任された倉元議長の女房役として市民の負託にこたえてまいります。市民生活の安心安全と向上が求められています。是々非々の立場で協力しあうとともに、議員の合意を得ながら誠心誠意努力してまいります。

第13代
能美市議会議長
倉元 正順

〔就任あいさつ〕
これまでの議会活動の経験を活かしながら、市政の更なる発展と住民福祉の向上を目指し、誠心誠意、全身全霊を傾注し、議長職を全うする覚悟であります。
市民の皆さまのご支援ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

能美市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

教育
福祉

◎ 認知症の専門医を充てるのか

Ⓐ 当面は、市外の病院の老年精神科に常勤する専門医が、金曜日に対応するよう準備を進めている。また経験のある看護師のほか、医療ソーシャルワーカーを配置し、診察の予約や相談業務を担ってもらう。

◎ メモリーケアネットワーク能美など、ほかの機関との連携体制はどうか

Ⓐ 市内3地区の高齢者支援センターには必要な情報を随時提供する。メモリーケアネットワーク能美には、市立病院の医師、看護部長、職員なども所属し、毎月の会合で情報共有する。

※産業経済常任委員会への付託案件はありませんでした。

委員会審査報告

市長から提出された議案や請願は、4つの常任委員会に付託し、より詳細な審査を行っています。主な審査内容は次のとおりです（予算決算の審査内容はP4～P5に掲載）。

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務	米田 敏勝	山本 悟	杉田 隆一、居村 清二 北村 周士
産業経済	南山 修一	開道 昌信	近藤 啓子、嵐 昭夫 森 善克、田中大佐久
教育福祉	北野 哲	近藤 博	東 正幸、田中策次郎 仙台 謙三
予算決算	居村 清二	森 善克	議長を除く全議員

第2次能美市総合計画基本構想の策定

総務

◎ 計画の策定期間が3月から6月に変更となった理由は何が、また、この3か月間で内容がどう修正されたのか

Ⓐ 社会経済情勢の変化等により内容の精査を行った。修正内容は「必要に応じてまちづくり拠点整備方針の見直しを図る」という文言を新たに明記した

能美市のお金

「使い道」を厳しく審査

今定例会では、市長から提出された平成29年度補正予算に関する議案（2件）と、専決処分の報告に関する議案（5件）について審査が行われました。議長を除いた全議員で構成する予算決算常任委員会全体会で慎重な審査を行ったほか、委員会を3つの分科会に分け、分科会ごとにも集中的に審査を行いました。最終日の本会議で予算決算常任委員長から審査内容の報告があり、採決の結果、すべての議案が可決されました。

なお、主な審査内容は次のとおりです。

◆平成29年度一般会計補正予算

公用車備品整備事業

コミュニティバスや保育園バス等にドライブレコーダーを設置する経費

バス以外の公用車にも設置する計画はあるのか

自動車の更新に合わせ、順次、設置していく。

情報システム更新・改修事業

マイナンバーを利用した子育てワンストップサービスに対応するための情報環境を整備する経費

具体的にどういう環境整備を行うのか

インターネット上で申請された情報を、インターネットから切り離すことでセキュリティを保っている総合行政ネットワーク上へ取り込むための環境整備を行う。

対象事業は何か。サービスの開始時期はいつか

対象事業は「児童手当に関するもの」や「保育に関するもの」等であり、サービスの開始は10月頃になる予定である。

いい笑顔といいあいさつのトレーニング事業

窓口職員がこれまで以上に「いい笑顔」と「いいあいさつ」で市民と接することができるよう研修を行う経費

研修会の具体的な内容は

窓口業務を担当する職員を対象に、実技を交えた講義を年2回計4講義行う。いい笑顔やいいあいさつへの気づきややる気の学習、「コミュニケーション力を鍛えると共に立居振舞について考え、お客様への接遇を学ぶ。



▲いい笑顔といいあいさつで市民とのコミュニケーションを図り「日本一明るい市役所づくり」を目指します

地域包括的支援体制構築事業

子どもから高齢者、障がい者を含めたすべての人々の相談を包括的・継続的に支援できる体制を整備する経費

寺井地区をモデルとした根拠は。構築会議の

メンバーは誰か

地域福祉事業を推進している能美市社会福祉協議会が運営している寺井高齢者支援センターをモデルとした。構築会議のメンバーは、「健康づくり」「在宅医療介護連携推進」「助け合い・支え合い」の3つの専門部会の代表や学識経験者、県職員等を予定している。

手話障害者

コミュニケーション促進事業

聴覚や視覚に障がいのある方が安心して暮らしやすい環境を整えるための施策を検討する経費

施策検討会のメンバーは誰か

聴覚や視覚に障がいのある方々や障がいのある方からなる団体、関係行政機関、学識経験者などおおよそ15名以内で考えている。

まちぐるみ人生設計応援事業

男女交流を促す婚活イベントを開催する経費

婚活イベントの開催回数や開催時期、具体的な実施方法はどうか

能美市主催のイベント及び市内事業者との共同イベントをそれぞれ2回ずつ予定。市主催のイベントでは、8月下旬に「ボラ婚」、秋頃に「フォト婚」を実施する。共同イベントについては、今後、検討していく。

地域経済活性化事業

能美市への転入者等に対して、のみ商業協同組合が発行する商品券を贈呈する経費

転入者や婚姻者をどれくらい見込んでいるか

昨年度の実績に基づき、転入者を1,300人、婚姻世帯を250組見込んでいる。

産学官協力推進費

北陸先端大が主催する産学連携イベント「Matching HUB」に出席する市内企業に対し、その出展料を補助する経費

何社の参加が予定されているのか。出展による成果は何か

昨年まで参加していた12社に加え今年度はさらに4社程度の増加を見込み、成果としては、参加した企業同士が産産連携を図って新商品を開発した事例がある。

九谷焼資料館改修補助金

九谷焼資料館の大規模改修を行うにあたり、その工事費を所有者である能美市ふるさと振興公社に補助する経費

施設のバリアフリー化やインバウンド対応の具体的な手法・計画は

主なバリアフリー対応は、2階展示室までのエレベーターの新設や1階多目的トイレにオストメイト、2階には授乳室を新設する。

インバウンド観光への対応は、サイン表示に英語・中国語・韓国語の外国語を併記するとともに、ユニバーサルピクトグラム（絵文字）を活用。さらに全館をフリーWiFi対応可能とする。各展示品の解説を英語併記としてQRコードを記載。QRコードで詳しい解説や動画を閲覧できる。



▲九谷焼資料館

ホームページ更新事業

能美市ホームページの機能追加及び部分改修を行う経費

スマホ版のサイトは含まれているのか

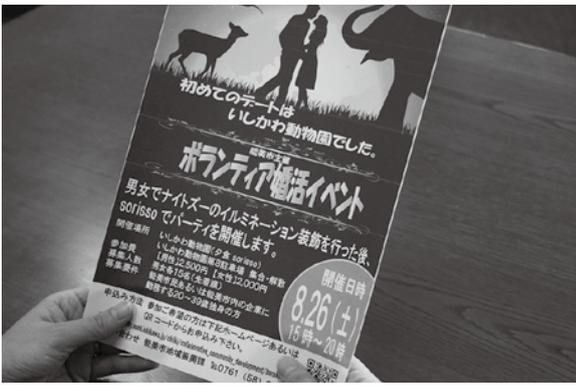
この補正予算の中には含まれていないが、今後、事業内容が具体化していく中で順次検討していく。

大学連携事業

北陸先端大と連携し、市内児童の「教育力の向上」に資するため次世代プログラミング人材を育成する経費

具体的にどう取り組んでいくのか

北陸先端大を会場として、ものづくりに興味のある子どもたちに、日常の様々なことがプログラミングによっておこなわれていることを学習してもらい、情報通信技術に対する興味と関心を高める。詳細な内容は、夏休み期間中に市内小学校の4年生から6年生を対象として、レゴブロックでロボットを作りパソコンで制御するといったプログラミング学習等を予定している。



▲いしかわ動物園でボランティア活動を伴う婚活イベントが予定されています

討論

—こんな理由で賛成・反対しました—

6月23日の定例会最終日、各議員から活発な討論が行われました。討論とは、採決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することを言います。下記にその概要を掲載いたします。

●平成29年度能美市一般会計補正予算

今回計上された補正予算のうち、投資的経費は、能美根上インターチェンジ事業や寺井地区都市再生整備事業等を含め全体の8割を占めている。こうした不要不急な工事に莫大な投資をする一方で、少子・高齢化・貧困対策としての新たな予算計上が少ない。人口獲得を目指した都市間競争ではなく、市民の生活支援への対策を強めるべき。

「我が事、丸ごと」共生社会事業費において、地域福祉委員の活動の充実が必要なことであるが、過大な仕事を地域におろし、安上がりに進めることでは地域福祉の充実はない。市民を公的サービスから遠ざけ、支援内容に混乱をもたらすものである。

また、子育て支援の申請において、ワンストップで申請ができるマイナポータル事業もマイナンバーカードを持っていることが前提。便利さもある反面、絶対安全の保障もない。これらの補正予算が計上されており賛成できない。

反対

近藤 啓子
議員
(日本共産党)

●第2次能美市総合計画基本構想の策定

反対

近藤 啓子
議員
(日本共産党)

この計画は、「世界でも例を見ないほどの急激な人口減が予測される」とし、これを受け、「市民が幸せに暮らし続けられる持続可能なまちづくり」に向けて策定したとしている。

人口減の最大の原因である少子化の要因は、第一次安倍内閣で推進された「非正規雇用」の拡大政策によって、若年層が、結婚できる雇用形態ができなくなったこと等である。

また、市民意向調査では、「雇用の場の創出や労働環境の改善」が最も多く出されている。雇用の確保は、少子化対策や安定した暮らしの重要な課題であり、市としても国県への働きかけとともに、企業に対しても労働条件の改善を強めることが必要。

市の今後10年間の方向を決めていく場合に、国の施策転換を求めていくことが必要。こういった明確な提案や指針のない計画には賛成できない。

●市長提出の全議案

今回の補正予算は、井出新市長の下で政策的な事業や新規施策にかかる事業を中心に補正予算を編成された。

中でも、シティプロモーション事業は、移住定住の促進や交流人口の拡大、企業誘致の推進に繋がるばかりではなく、地元市民にとってはふるさと愛の醸成にも資するもの。能美市のブランド力の向上には欠かす事の出来ない目玉事業である。ほかにも選挙公約の具現化に向けての経費が随所に計上されている。

第2次能美市総合計画基本構想の策定は、能美市の今後10年間における将来像や、その実現に向けたまちづくりの基本方針などを定めたものである。その着実な実現に向けて行政評価などにより、施策を検証し予算に反映する体制が構築されているほか、前期3年、中期3年においては状況に応じて「見直し・修正」がなされ、後期4年を経て総括されることとなっている。

平成29年度予算に計上された事業を着実に執行し、公約の実現に向けて全力で取り組むことを望み、全ての議案に賛成する。

賛成

北野 哲
議員
(能美保守の会)

賛否が分かれた議案

○=賛成、●=反対、議長は採決に加わりません。副市長の選任で近藤啓子議員は棄権

議案名	北村周士	仙台謙三	山本悟	田中大佐久	森善克	近藤博	田中策次郎	開道昌信	嵐昭夫	南山修一	居村清二	北野哲	倉元正順	米田敏勝	東正幸	近藤啓子	杉田隆一
第2次能美市総合計画基本構想の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
平成29年度能美市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
専決処分の報告(能美市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めること)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
専決処分の報告(平成28年度能美市一般会計補正予算(第6号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
専決処分の報告(平成28年度能美市介護保険特別会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
能美市副市長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

このほかの議案などの審議結果は、能美市議会のホームページをご覧ください。



田中 策次郎 議員
能美保守の会

障害者差別解消法

Q 「行政機関は障害を理由とする差別の相談に的確に応じ、解決を図る」とする法の施行から1年、障がい者や家族からの相談に対する改善はできているのか

A 相談は1,657人、延べ1万4,592件。一例では「庁舎内に設置したスロープと床の境目が見分けづらい」との意見から目印をつけ対応を行った。現在策定中の第3期障害者計画では「障がいのある人もない人も共に支え合いながら地域で生活できる共生社会の実現」を基本目標に据え、障害者施策を推進する。

バリアフリーマップ

Q 障がい者用トイレ、駐車場、スロープを記載したバリアフリーマップを作成できないか

A 誰もが利用しやすいよう設備情報などについて再調査し、ホームページにバリアフリー情報として取り込めないか検討する。

教育行政

Q 学校教育で取り組みたい事と、教育行政での今後の方針は

A 子ども達が確かな学力と豊かな心を育むための道徳教育や特別活動などの充実を図る。

地域の方々が多様な形で学校支援活動に参加する能美市版コミュニティ・スクールを推進する。

「地域に根ざし、豊かな未来を拓く、人づくり」を基本方針に、スピード感を持って教育行政を展開していく。

市消防本部体制

Q 能美市において糸魚川市と同規模の火災が起こった場合、市消防の対応と、今後求められるものは何か

A 糸魚川大規模火災を教訓に、大規模火災検討部会を立上げ、警防計画を作成し、訓練を行っている。定員を106人に増員。同時に消防施設整備計画により車両の整備、増強も行う予定。



▲糸魚川大規模火災後の現状

一般質問



嵐 昭夫 議員
市

消防団員の加入促進

Q 団員確保の啓蒙活動も団員自ら行っており、地域ぐるみの応援が求められている。「消防団応援の店・事業所」の登録・受付をすすめよ

A 団員の確保に大変苦慮している。消防団応援の店は大変興味深く、金沢市の事例を参考に検討し、市独自の取り組みも考える。消防団活動の重要性を理解してもらう確保に努める。

教員の負担軽減

Q 教員の長時間労働と多忙化は、授業準備や生徒とのふれあい、自己啓発の時間も奪い、教育の質低下をもたらす。市内小中学校の勤務時間の実態を問う

A 4月に時間外勤務時間の調査を行った結果、平均で小学校は60時間、中学校は84時間だった。小中学校は県立の高等学校と比較して職員数も少なく、1人が抱える校務が多いのも事実。今後、

年間を通して調査を続け、教職員の適切な勤務管理に努めていく。

Q 4月から、中学校部活動は、原則として日曜日は休養日とされた。これに対して保護者や生徒からの反応はどうか。教員の勤務時間等にも効果があったのか

A 能美市では、これまでも週に1回は休養日をとることを実施してきた。この2カ月間で、競技力の低下を心配する声もあるが、反対に好意的な声も多い。

これを機会に、より効果的な部活動指導に創意工夫し、練習方法等を見直している。教員の中には、日曜日に休むことでめり張りが増え、頑張ろうという気持ちが生まれ、頑張ろうという声もある。

Q 集合型研修から校内研修への移行は負担軽減に繋がるのか

A 教師は学校で育つと思っている。各学校の校内研修の見直しを推進し、より実践的な校内研修や効率のよい研修方法になるよう指導・助言を行っていく。



▲消防活動の魅力を伝える消防団員



米田 敏勝 議員
能美保守の会

根上地区の温泉

Q 根上地区の活性化、振興策の起爆剤として温泉を掘削してはどうか

A 能美市全体としては温泉施設が複数あることや、これからの社会経済情勢によりますます財政的に厳しくなっていく状況を勘案すると温泉掘削は難しい。

根上地域は、産業団地の造成、加賀海浜産業道路の整備、能美根上スマートインターチェンジの開設と大きなインフラ整備が進行中であり、地域の環境が大きく変化していく途中である。これらのインフラ整備が今後の根上地域の活性化につながるものと考えている。

市内企業のものづくり

Q 地元企業の「物づくり」に早くから触れ、体験してもらう機会が大切。子どもたちに地元企業の「物づくり」の魅力や良さを学ぶ体験学習を推進せよ

A 県の事業に「いしかわの家庭教育支援プラットフォーム事業」がある。この事業は、企業等が実施している出前講座や工場見学といった社会貢献活動をPTA等が活用し、教育活動に取り入れることで、地域活動の活性化を図り、ひいては家庭の教育力の向上に寄与することを目的としている。協力企業として市内の企業も名を連ねており、教育委員会としてもこの事業を積極的に活用していく。

Q 地元企業の「物づくり」の魅力や良さをPRし、市民が日常的に学習できる拠点窓口を市で提供できないか

A 市役所本庁舎内の市民ホール等にて企業製品の展示コーナーを開設し、来庁者の方々に紹介したいと考えている。

加えて、来年に期限を迎える観光ビジョンを1年前倒しして見直しを図ることとしている。新ビジョン作成の中で産業観光の振興も議論いただき



▲工事が進められている能美根上スマートインターチェンジ

一般質問



東 正幸 議員
能美保守の会

移住・定住施策

Q 市長が描く移住・定住構想の概略は。将来人口目標設定の考え方として、自然増減、社会増減、移住のパターンを掲げているが、その具体的な方策は

A 自然増減の方策は、出生率を回復することが重要。結婚、妊娠、出産、育児の幅広い施策を複合的に実施するほか、婚活イベントを開催する等、結婚支援の強化を考えている。

社会増減及び組移住の方策は、定住促進補助金制度を改正し、移住・定住を推進する。また、移住に関心を持つている方に移住者からの視点でアプローチする。地域おこし協力隊とともに情報発信の強化に努めていく。

Q 空き家を提供できない要因の1つに「仏壇があるから」ということがある。大きな仏壇の取り扱いや処分に対する対策を検討する必要があるのではないかと

A 能美市空き家清掃費等補助金の対象経費として「対象物件に残存する家財道具等の処分又は搬出に要する経費」との定めがあり、仏壇も家財道具等の一つと解釈できる。この制度を利用して仏壇を処分することは可能である。

Q 将来人口増加のためには、若い世代の移住・定住が重要。市長の若い世代に対する縁結び支援の考え方と、具体的な方策は

A マッチングの場の提供として男女の交流を促す婚活イベントの開催を計画している。能美市在住者または在勤者の方を対象に、夏と秋ごろに能美市内でイベントを開催し、出会いの場を創出する。夏には、いしかわ動物園のナイトズーにあわせ、準備の一部を手伝う「ボラ婚」と銘打ち開催する。無料情報誌での周知を初め市内企業や病院、福祉施設等に声をかけし、参加を促していく。



▲地域おこし協力隊の大武さん。イベント等で能美市の魅力を伝えます



山本 悟 議員
能美保守の会

地下水の安定供給

Q 県水受水の為年間1億8,000万円余りが毎年必要になる。この際市内から小松市への給水協定をトップ交渉で見直せ

A この協定は昭和41年人道的見地から小松市と辰口町が締結し、現在は年間370万m³取水しているものである。年間補償額は現在400万円である。来年9月末の協定見直し時に自ら出向き最大取水量や補償金額について協議を行ないたいと考えている。

教員の勤務時間

Q 文科省の発表では勤務時間が週60時間を超える教諭が小学校で33.5%、中学校で57.7%に上っている。能美市内の実態を調査し、改善につなげよ

A 4月から始めた市内の全小中学校を対象にした実態調査では、1カ月の時間外勤務は小学校で平均60時間中学校では84時間であった。改善策として

1つ目は100時間を超える職員への指導とケアを行なう。2つ目は各学校において適切な時間外勤務時間の目標を設定し、職員に周知徹底する。3つ目は重労働につながらない教職員の勤務環境づくりに工夫すること、について指示伝達を行った。

市内の体育施設

Q 市内の運動施設に附随したトイレを特に高齢者に配慮し洋式化を進めよ

A 現在市内体育施設に設置されているトイレは35カ所あり、その内洋式トイレは66%である。今後も誰もが生涯スポーツに取り組める環境づくりの視点からも計画的に体育運動施設のトイレ洋式化を順次進めていきたい。



▲教職員の負担軽減を

一般質問



南山 修一 議員
勉 誠

土地利用

Q 辰口フラワーハウスの跡地活用はどのようにするのか

A 跡地だけでなく隣接する民有地も含めた土地利用が望ましく、民有地の用地取得に向けて交渉を継続している。施設全体の管理は、農政課が担当であり、今後も用地交渉を含め産業建設部を中心に庁内連携して検討する。議員の提言と地元や関係機関等の意見も参考にしながら、引き続き庁内横断的に、最も有効な跡地利用と地域の活性化について検討する。

人口減少での地域活性化

Q 第2次総合計画と政権公約を問う

A 最大の課題は人口減少で、観光の推進とシティプロモーションにより能美市の魅力を発信し、交流人口の拡大と市のブランド力を高めていき、これらの取組みの結果として人口減少の克服につなげる。

基本構想の「横糸」プロジェクトは、さまざまな施策を有機的につなげ目的を達成していくことを表し、関係部署のこれまで以上の連携と市民のさらなる協働が必要。計画の推進で最も大切なことは目的意識の共有であり、双方向での意思疎通と情報公開に心がけ、行政評価を通して風通しのよい組織づくりとPDCAがしっかりと回る行政経営に取り組む。

Q 空き家等を活用して短期滞在型施設ができないか

A 空き家を滞在型宿泊施設として活用するには、旅館業法、消防法、食品衛生法、建築基準法などさまざまな法的規制があり、問題の整理とこの施設に対する需要等を調査実施した上で、検討したい。



▲辰口フラワーハウスの有効な跡地利用を



開道 昌信 議員
真政会

武力攻撃、テロへの対応

Q 北朝鮮の動向が予断を許さない。市民が身を守るために、とるべき行動の見える化を図った「能美市有事行動マニュアルパンフレット」を作成してはどうか

A 武力攻撃やテロなどに対し、国全体として万全の体制で国民保護を実施する法整備がなされている。この仕組みの中で「能美市国民保護計画」を作成しているが、確かに市民には内容が理解しづらい点がある。

幸いにも石川県が「石川県国民保護計画のあらまし」というパンフレットを作成している。当面はこれを活用しながら万に備えたい。

Q 政府が、北朝鮮による弾道ミサイルの発射を想定した住民の避難訓練を早期に実施するよう呼びかけているが、当市でも実行すべきでは

A 有事対応の際は避難所の確保や運営、避難行動要支援者の対応など多くの部分で地域防災計

画を準用する事となる。

当市での有事対応の避難訓練については国の呼びかける頑丈な建物や地下が少ないため、自然災害等を想定した訓練との違いが明確にできるか配慮が必要である。石川県とも相談し検討したい。

Q 有事の際、避難先となる公共施設にWi-Fi環境を至急整備せよ

A 武力攻撃など突発的な事象のほかに自然災害発生時においても正確な情報を適時提供する事は市の責務と考えている。その手段としてSNSなどのインターネットを活用した情報発信は時代の潮流でもある。

国も発災時に避難所となりうる防災拠点施設の公衆無線LAN整備事業に支援をする動きも出てきた。これら補助制度を活用し、今後整備する拠点の選定を含め検討したい。



▲石川県国民保護計画のあらまし。警報が発令されたときの情報伝達の仕組み等が掲載されています

一般質問



田中 大佐久 議員
能美保守の会

本予算編成

Q 市長の自己評価は

A 能美市に住んでいることを自慢できる街づくりに取り組んでいく。そして、現地現場主義、市民ファーストを信条に施策のPDCAを回しながら、合格点を頂けるよう粉骨砕身努めていく。自身で評価するのではなく、施策の経緯を見た後に市民の皆様の評価を頂くべきものと考えている。

新教育長の所信

Q 本市の教育を更に深化・発展する思いは

A 教育における不易と流行。子供たちが、不確かなる未来を自ら切り開くため確かな学力を。そして、心豊かでたくましく生き抜く力を育てる。透明性とスピード感ある教育行政を展開していく。

今後の財政状況

Q 健全財政であるか

A 実質公債費比率及び将来負担比率は県内自治体や類似団体等と比較すると、客観的には健全な財政運営ができています。

Q 実質債務残高は。また、市民1人の債務は

A 財政健全化法に基づく実質債務残高はゼロであり、理論上起債残高を賄う財源を確保している。市民1人の債務は、平成27年度決算で算出すると、61万円余となる。

基金残高

Q 基金が増えた要因は。また、高利率債券の借換え等の計画は

A 積極的に企業誘致を図ってきた成果。行財政改革を不断の努力で続けてきた結果と認識をしている。

利率の高い起債は過去に繰上償還を行い、現在2%を超えるものは全体の2%となっている。制度を賢く活用し、一層の健全財政に努める。



▲市長が公約に掲げるタウンミーティングに関する補正予算も6月議会で計上されました



森 善克 議員
能美保守の会

移住定住施策

Q 移住相談員事業の進捗状況と今後の見通しはどうか

A 市民協働まちづくりセンター「のみにこ」に移住交流サロンを開設し、地域おこし協力隊が移住相談を受けている。能美の里山ファン倶楽部の里山ガイドハイクや辰口アーティスト村のアトリ工見学等を通じ、移住希望者に能美市の豊かな自然やよさを知って頂き、移住・定住に繋げたい。

Q 空き店舗バンクを創設することとはできないか

A 空き店舗数は空き家に比べて少ないため、空き家バンク制度を拡充して空き店舗を紹介できないかなどの方法を検討したい。空き店舗の所有者と創業を志す方とのマッチングにも努めていく。

Q 移住・定住促進のためには、新たな宅地が必要になる。今後市主体の新たな宅地提供の考えはないか

A 単に外に拡大して定住エリアを確保する施策では、高齢者のみ世帯や空き家の増加が懸念される。三世帯同居の推進と空き家の利活用等による地域コミュニティの強化が必要であり、企業誘致とあわせた宅地供給により定住人口の拡大に努める必要もある。県内自治体の状況や市内分譲地等での住宅建設状況から、現段階では市主体の宅地開発は控えたい。

婚活に対する支援の強化

Q 出会いの場を創出して婚姻成立を目指しさらに移住・定住に繋げるとの方針であるが、どのような内容か

A 今年度は地域団体等と共同で出会いイベントを4回開催する計画で、夏に予定している「ボラ婚」は、いしかわ動物園のナイトショーに合わせ準備の一部を手伝うボランティアで、共同作業の出会いイベントを行うことでより自然な交流ができ、カップルに成りやすいと期待している。



▲三世帯同居、近居の推進を

一般質問



近藤 博 議員
能美保守の会

ブランド化の推進

Q トラックラッピング広告事業の企画内容と次年度以降の計画、新ポスター利用の具体的な活動計画はどうか

A デザインの素材は市が提供、制作等は運送会社が行い、費用のほぼ半額相当を市が負担する。「能美」の平仮名表記や、「子ども笑顔があふれる能美市」というキャッチフレーズは今後検討する。次年度以降は、応募状況と成果や反響により、対応を判断したい。新ポスター利用は、新たに3大都市圏では積極的に取り組み、他にも視線を向けている。ホームページや「YouTube」に公開しており、能美市の魅力が全国に広がることを願っている。

九谷陶芸村まつりの誘客

Q 大野俊三ジャズライブはブランド力アップなのか、集客なのか。費用対効果という観点からも説明を求めます

A 大野さんは世界的なトランペッターとして「能美市や九谷焼」を世界中にインターネットで発信しており、情報発信に大きな役割を果たしている。無形効果として、吹奏楽愛好者への技術向上にも一役買っていただけ、将来への夢、希望など様々な効果を期待している。

あいさつ運動

Q 毎月15日の「ふれあいあいさつデー」や9月第1週の平日を各学校が取り組んでいるが、もっと「見える化」をせよ

A 各学校経営計画の中にも挨拶運動の推進はうたわれている。形骸化というような指摘や意見があるのも事実だが、各学校・地域では挨拶の大切さを確認し、創意工夫して取り組んでいる。ブラッシュアップし続けていくことが「いい笑顔」といい挨拶」が当たり前の能美市に繋がると考えている。



▲地域の見守り隊も毎朝、あいさつ運動に取り組んでいます



近藤 啓子 議員
日本共産党

我が事・丸ごこの地域づくり

Q 生活困難者が抱える問題は、複合化している。丸ごこの対応が必要であるが、地域住民の支えあいなどの福祉抑制政策では、安心はないのではないか

A 自助・互助を中心として新たな支えあい、共助・公助を中心とした切れ目のない支援など、地域住民や関係機関・団体等の連携・協働のもとで、地域福祉を推進していくことが求められている。今回「我が事・丸ごと」の地域づくりモデル事業で実施することで、複雑化した個々の課題を把握するとともに、実現に向けた手段や関係者の役割を明確にしながら、地域力の強化推進と他機関協働による全世代・全対象型の包括支援体制の構築に向けて、庁内各課連携して取り組んでいく。

Q 地域包括ケアの強化は必要。しかし政府の社会保障抑制政策の方向は、ボトムアップ機能が働かなければ、ますます政策の縮

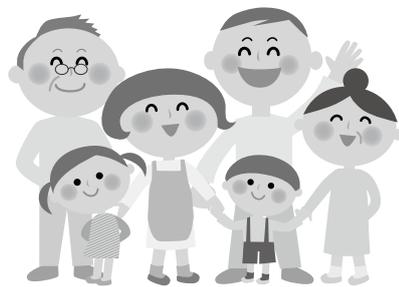
小につながるのではないか

A 市が進めるモデル事業は、多機関の協働とワンストップでの相談窓口を設置するという2つの面がある。「健康づくり」「在宅医療・介護連携」「助け合い・支えあい」の3つの専門部会で声を深め、地域包括の支援を進める。

共謀罪法案

Q 個人の内心に踏み込み、思想、信条の自由への重大な侵害に強化されることから、認めることはできないのではないか

A 首長の立場で国に意見を述べることがいかなるものかと考えているので答弁は差し控える。民主主義、平和主義を守り、市民の安心・安全、自由と平和を願う思いは同じである。



一般質問



北村 周士 議員

ふるさと納税

Q 総務省指針に基づき、その範囲内での積極的な活用を検討せよ

A 過熱ぎみの返礼品競争を是正すべく、国による指針が示されている。能美市では、制度の趣旨を踏まえた返礼品の選定と割合になっており、基本的には現行のまま継続したい。一部、その範囲を超えているものは見直しを検討する。なお、今後は、九谷焼若手作家の作品や能美市への来訪につながるような体験型商品を盛り込むなど、拡充に努めていきたい。さらに、寄附金の活用をより明確化するなど、能美市を応援したくなるような積極的な活用を図りたい。

「九谷の里」づくり

Q 九谷焼資料館の改修計画、産業観光の振興についての方針を問う

A 資料館については「来館者にやさしい、おもてなしのコミュニケーション」

「シームレス」をコンセプトに準備を進め、平成31年度の完成を目指している。展示レイアウトの大幅な見直しや、バリアフリー化を行い、九谷陶芸村への観光誘客を図りたい。産業観光については、九谷焼技術研究所卒業生を対象に、能美市内での定着と新製品開発、またその作業現場を見ていただくことで観光誘客へもつながるよう、研修所や業界との協議を進めていきたい。

市政の情報発信

Q ホームページのスマートフォン対応を検討せよ

A スマートフォン普及率はパソコンに迫る勢いで年々増加しており、スマートフォンで見つかることには大変重要になってくると思われる。ホームページのスマートフォンの作成については、公共性の保持、利便性の向上、利用環境への配慮などを含め、今後研究していきたい。



▲能美市のホームページにふるさと納税の返礼品が掲載されています



仙台 謙三 議員
公明党

弁慶謝罪の地

Q 道林町・道林寺会館前庭に弁慶謝罪の地を記念した碑と義経弁慶主従の銅像を広く市内外に宣伝し、活用せよ

A 能美市にとつても、南加賀一帯でPRできる貴重な観光資源と考える。地域住民の皆さんが大切にされており、地元町内会や関係団体のお声をお聞きし、活用を考へて参りたい。

英語教育・外国語活動

Q 教育長の英語学習における考へは何が。また小中学生が英語を学ぶ際に必要な事は何か

A 失敗を恐れない事が大切。子供たちが将来において英語が聞き取れる、話せる、読める、書ける、使えるという明確な目標が達成できる英語教育でなければいけない。

地元の留学生や国際交流の分野で活動している様々な方と恐れないう言葉を使える環境を増やすな

ど、様々なアイデアや施策を講じていきたい。

白山・日本海の眺望

Q 白山や日本海を眺望できる「カフェ」の様な憩いのスペースを設置せよ

A 白山の眺望について、土地利用の規制による場所の制約や、財源・運営面での課題が多岐に渡る。よって白山を眺望するカフェの設置は、行政主導でなく、民間による整備が行われる事に期待する。

日本海の眺望については、市の海岸地域のほとんどが保安林や工場用地のため、用地確保が困難である。また冬場の天候を考えると、年間を通しての経営面における課題も大きい。よって日本海を眺望するカフェの設置は、現在のところ難しいと考える。当面は、国や県と連携し、自然豊かで人々が親しみやすい海岸環境の維持に努めてゆく。



▲白山や日本海を眺望できる「カフェ」を

一般質問

政務活動費の収支報告書をホームページで公開

～ 領収書や視察報告書等は議会事務局で閲覧できます ～

政務活動費とは、市政に関する調査研究及びその他の活動に資するため、必要な経費の一部として、議員個人に月額5万円を交付しています。

政務活動費の透明性を高めるため、平成29年7月1日から収支報告書を市ホームページに掲載。また、領収書やその他の証拠書類（視察報告書等）は、議会事務局でどなたでも閲覧できることになりました。



●収支報告書や領収書等の閲覧制度

閲覧場所	能美市役所 3階 議会事務局
閲覧可能日時	市役所開庁日の午前8時30分から午後5時15分まで

九谷焼の 作り手 × 市議会

5月27日(土)、石川県立九谷焼技術者自立支援工房に所属する九谷焼の作り手の皆さんと意見交換をしました。自立支援工房の現状や九谷焼業を行っていくうえでの思いなどを語っていただきました。



意見交換会は、自立支援工房内ギャラリー彩で行われました。ギャラリーには、九谷焼にたずさわる方々の制作品が展示されています。

九谷焼というブランドは、他とは格が違う

「九谷と言えば能美市」とつながる方法があればいいですね。

〈なぜ、九谷焼の作り手という道を選んだのでしょうか〉

■子供のころから、何か「キラキラしたものが九谷焼だ」と思っていました。自分でものづくりに関わりたいたいと思い、九谷焼のことを学ぼううちに、九谷焼ってすごく素敵だと思うようになりました。

■信楽焼を学んでいましたが、全国の焼き物を見ているうちに、九谷焼だけがちょっと違ってました。いろいろな工芸や美術などが入り混じっていて、他とは違ったのです。

〈能美市に定住して作陶しているというとき、何を求めますか〉

■この工房を巣立っていった作り手たちは、今までに30〜40人程度いますが、能美市に残ったというのは、十数人です。他は金沢などに移住している現状があります。流通や、様々な人的な結びつきがある土地柄なのに、窯の購入や設備投資、建物の改修などの補助があるほうへ流れてしまっています。自立支援工房を出た



後に、拠点として作陶できる工房が能美市にはないのが残念だなと思います。

■現状、この工房や共同工房などが整備されており、恵まれた環境です。作り手の中でも、絵付けをする人や素地を作る人など、それぞれ希望する設備も違います。何よりも、ここは陶芸の中心地で買いたい物する方もお見えになります。自分たちも観光的なことに協力して、工房の在り方も考えていければと思います。

〈九谷焼の振興や保存という観点で、行政や議会ができることがあるとすれば〉

■毎年、20人近くの生徒が技術研修所を卒業しています。そういった若い世代が活躍できる場になってほしいと思います。いろいろなものがあるのに集まり、みんなで盛り上げていきたいと思います。人が集まり、ものが集まることで、販路開

拓にもつながりますし、様々なチャンスが生まれます。

■職人の皆さんも高齢化しており、その技術の保存が必要だと思います。学びたい、あるいは教えたいという人もいないのでしょうか。後世に技術を残せるような動きを期待したいです。

■九谷焼というブランドは、他とは格が違うという認識のお客さんもいます。「九谷と言えば能美市」とつながる良い方法があればと思います。

〈このような意見交換会を催させていただいて、議会に対する印象はいかがでしたか〉

■このような場を作っていただいて、本当にうれしいです。普段、こういう話は同業者でしかしてきませんでした。意見を吸い上げ、行政に反映していただきたいと思います。

■なんとなく「遠い世界の人たち」という印象でしたが、普段、接点がありませんでした。こうして話していただけなのかもしれません。こうしてお話していると「普通にお話できる」方々なんだという印象を抱きました。九谷焼のことも色々と勉強されていて、広くいろんなことを見て下さっているなと感じました。

こんな活動しています

- | | | |
|--------------|------------|------------------------|
| 総務…総務常任委員会 | 議運…議会運営委員会 | 基地…基地対策特別委員会 |
| 産経…産業経済常任委員会 | 全協…議会全員協議会 | いじめ…いじめ・虐待等社会問題対策特別委員会 |
| 教福…教育福祉常任委員会 | 広報…広報特別委員会 | 活性化…議会の活性化に関する検討会 |

4月

- 10日 広報(議会だより53号の編集)
- 11日 議運(意見交換会他)
全協(")
活性化(政治倫理条例)
- 17日 広報(議会だより53号の再編集)
いじめ(調査研究)
- 19日 総務(各課報告)
- 25日 教福(各課報告)
- 26日 産経(各課報告)

5月

- 9日 活性化(政治倫理条例)
視察受入(武雄市:定住促進)
- 11日 視察受入(むつ市:糖尿病予防)
- 12日 いじめ(調査研究)
- 16日 視察受入(南魚沼市:6次産業化)
- 17日 視察受入(岩沼市:市民協働)
- 22日 総務(各課報告)
- 23日 産経(各課報告)
視察受入(高梁市:学力向上)
- 24日 教福(各課報告)
- 25日 視察受入(大野市:6次産業化)
- 29日 議運(第2回定例会会期日程)
全協(")
広報(意見交換会)

6月

- 1日 視察受入(長崎県:企業誘致、公共交通など)
- 5日 議運(議事日程)
全協(")
本会議(開会、議案上程、提案理由説明)
- 7日 議運(一般質問発言順)
- 12日 いじめ(調査研究)
- 14日 議運(議事日程)
全協(")
本会議(一般質問)
- 15日 本会議(一般質問、質疑、委員会付託)
- 16日 予算決算常任委員会全体会
予算決算産経分科会(付託案件の審査)
広報(意見交換会)
- 19日 総務、予算決算総務分科会(付託案件の審査)
- 20日 教福、予算決算教福分科会(付託案件の審査)
- 22日 予算決算常任委員会全体会
議運(第3回定例会会期日程他)
活性化(行政視察)
- 23日 議運(議事日程)
全協(")
本会議(委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)
広報(議会だより54号のレイアウト案)
- 28日~29日
基地視察(厚木基地)

本会議の録画映像を
HPで配信しています

能美市議会映像配信

検索

ご意見・ご感想

『のみだより』へのご意見・ご感想や能美市議会へのご意見などございましたら、下記の宛先までお寄せください。

〒923-1297 能美市来丸町 1110 番地
能美市議会事務局
TEL: (0761)58-2240
FAX: (0761)58-2295
E-mail: gikai@city.nomi.lg.jp

平成29年

9月定例会のお知らせ (会期:8月29日~9月15日)

皆さまお気軽に傍聴に
お越しください

- 8月29日(火) 提案理由説明
- 9月5日(火) 一般質問
- 9月6日(水) 一般質問
- 9月15日(金) 委員長報告、
討論、採決

編集後記

6月議会は倉元新議長、嵐副議長の新体制でスタートし、空気も変わり新鮮な感じのもとに細川新副市長の選任にも同意して閉会しました。

市長がタウンミーティングで市民の知恵と力を得ると同じく、議会も報告会から始まり、今年の壮年団のワークショップ形式での意見交換会から、今年度は5月には九谷焼の作り手の方々と、7月後半

には、移住(転入)された方々との意見交換会で、「人の行く裏に道あり花の山」の心境で、より暮らしやすい、より住みやすいまちづくりを目指していかなければなりません。皆様方のご意見やご指導をいただき今後も活力ある議会を目指し、「見やすさ、新しさ、読みやすさ」に注意した「のみだより」を皆様方にお届けしていきます。

(近藤 博)

広報特別委員会 委員長:嵐 昭夫 副委員長:田中大佐久 委員:開道 昌信、近藤 博、山本 悟、仙台 謙三、北村 周士